

# 1-01-275 大野伊吉(『実業之富山』創業者)関係資料リスト

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
1	大野伊吉父宛書簡(2・26事件報告)	1	昭和11年 (1936)3月2日付	各 22.1*18.8	便箋8枚(封筒あり)。 現高岡市福岡町出身で当時東京朝日新聞記者の大野伊吉(1909~90)が、2・26事件の直後にその詳細を父に伝えた書簡。戒厳司令部の査閲(検閲)がなされているとはいえ、自ら目撃した事件の4日間(昭和11年2月26~29日)の様相を便箋8枚(約1,500字)にわたり叙述している。
2	『実業之富山』	46	昭和27~29年 (1952~54)	各 26.3*18.4	雑誌。発行所:高岡市御旅屋町大福院 実業之富山社、編集兼発行人:大野伊吉。 贈呈用・見本用のもので、贈呈先の社名が表紙に押印・記入されている。 ・第7巻第8号…4冊(昭和27年7月25日発行) ・第7巻第9号…2冊(昭和27年8月10日発行) ・第7巻第10号…15冊(昭和27年9月10日発行) ・第7巻第11号…9冊(昭和27年9月25日発行) ・第7巻第13号…1冊(昭和27年11月10日発行) ・第7巻第14号…1冊(昭和27年12月10日発行) ・第8巻第2号…11冊(昭和28年2月5日発行) ・第8巻第3号…1冊(昭和28年3月5日発行) ・第9巻第4号…1冊(昭和29年4月5日発行) ・第9巻第5号…1冊(昭和29年5月5日発行)
3	『実業之富山』広告申込書	280	①昭和21年 (1946)11月頃 ②昭和30年 (1955)頃	用紙綴17.6*24.5 各 15.6*21.1	①用紙綴1冊(47枚)、②用紙233枚。 ①用紙綴表紙「昭和貳拾(マ)年拾貳月号/広告申込書綴/実業之富山社」。「祝創刊」と入った広告が複数ある。ちなみに実業之富山社は昭和21年10月創業である。
4	大野伊吉宛佐伯源次郎年賀状	1	昭和9年(1934)1月1日	14.1*9.1	葉書。裏面は印刷。佐伯源次郎(本名:源之助)は、劔岳に劔沢小屋を建て、「源次郎尾根」の由来にもなった人物。 劔沢小屋 佐伯源次郎(自宅:中新川郡立山村芦峠寺)→西砺波郡福岡町三日市大野1023 大野伊吉。
5	大野伊吉宛斎藤義行年賀状	2	①昭和9年 (1934)1月1日 ②昭和26年 (1951)1月1日	①14.1*9.1 ②13.9*9.0	葉書。 斎藤義行→①東京市下谷区上野桜木町48番地 岡方大野伊吉。②西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
6	大野伊吉宛今村二郎年賀状	1	(昭和戦後)1月17日	14.1*9.0	葉書。 岡山県児島郡福田村広江原 今村二郎→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。
7	大野伊吉宛橋本寿書簡(手紙の返信)	1	昭和戦後	14.0*9.0	絵葉書「輝く朝日・興亜の新聞」。 東京都麹町区有楽町2-3 朝日新聞東京本社 橋本寿→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。
8	大野伊吉宛王田俊夫書簡(近況報告)	1	昭和戦後	11.9*7.5	葉書。 姫路市岡町38 福永栄一方 王田俊夫→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。
9	大野伊吉宛真田公平書簡(帰郷報告)	1	昭和戦後	14.0*8.9	葉書。 高知県安芸郡川北村 有沢徳馬方 真田公平→西砺波郡福山(マ)町上大野1213 大野伊吉。
10	大野伊吉宛富田了太郎書簡	4	昭和戦後	—	葉書3枚、封書1通。 京都市 富田了太郎→西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
11	大野伊吉宛中瀬信一書簡	3	昭和戦後	—	葉書2枚、封書1通。 高岡市新湊町 中瀬信一→西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
12	大野伊吉宛奈良場一〇年賀状	1	昭和戦後	13.8*8.8	葉書。 新潟県三島郡日吉村鳥越 奈良場一〇→西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
13	大野伊吉宛山田勝治年賀状	1	(昭和戦後)1月1日	13.9*9.0	葉書。 福岡町 山田勝治→本郡立野村西念寺内 大野伊吉。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
14	大野伊吉宛川中勝年賀状	1	(昭和戦後) 1月7日	14.0*9.0	葉書。 熊本県天草郡本渡町西浜区188-16 川中勝→西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
15	大野伊吉宛増田圓口年賀状	1	(昭和戦後) 1月16日	13.9*9.0	葉書。 布施市大蓮1655 増田圓口→西砺波郡立野村西念寺方 大野伊吉。
16	大野伊吉宛土地秀夫書簡(近況報告)	1	(昭和戦後) 9月19日	25.6*17.7	便箋2枚(封筒あり)。 中新川郡利田村 土地秀夫→西砺波郡立野村立野西念寺 大野伊吉。 他に封筒のみ1点あり(中新川郡利田村立泉寺 土地秀夫方 ハル→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉)。
17	大野伊吉宛高林孝次書簡(近況報告)	1	昭和21年(1946)3月29日	14.0*9.0	葉書。 東京都世田谷区大原町1249 高林孝次→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。
18	大野伊吉宛中司実雄書簡	2	①昭和21年(1946)4月2日 ②昭和22年(1947)1月7日	①11.9*7.3 ②12.1*7.5	葉書。 山口県 中司実雄→①西砺波郡福岡町上大野1213 大野伊吉。②西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
19	大野伊吉宛大谷貞治書簡(帰郷の挨拶ならびに礼状)	1	昭和21年(1946)4月8日	14.0*9.0	葉書。 群馬県群馬郡岩鼻村大字台新田 大谷貞治→西砺波郡福岡町上大野1213 大野伊吉。
20	大野伊吉宛松井正書簡(衣類について現状報告)	1	昭和21年(1946)4月16日	14.1*8.9	葉書。 前橋市堀川町甲65 松井正→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。
21	大野伊吉宛阿部助哉書簡	2	①昭和21年(1946)5月8日 ②昭和21年(1946)8月31日	—	①葉書1枚、②封書1通。新潟県出身で衆議院議員の阿部助哉(あべすけや/1914~95)か。 新潟県 阿部助哉→①西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。②西砺波郡立野村立野西念寺 大野伊吉。
22	大野伊吉宛大河内寛書簡(帰還報告)	1	昭和21年(1946)6月2日	11.8*7.5	葉書。 岐阜県可児郡兼山町 大河内寛→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。
23	大野伊吉宛已松総三郎書簡	4	①昭和21年(1946)8月17日 ②昭和22年(1947)1月1日 ③昭和28年(1953)9月28日 ④(昭和戦後)10月27日	—	①~③葉書3枚、④封書1通。 東京都 已松総三郎→①西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。②西砺波郡立野村立野西念寺 大野伊吉。③④高岡市中川4区391 大野伊吉。
24	大野伊吉宛高田文次書簡(猶予願)	1	昭和21年(1946)10月31日	14.1*9.1	葉書。 市内定塚町1-2 奈部谷方 高田文次→高岡市立野西念寺内 大野伊吉。
25	大野伊吉宛樋口正作書簡	2	①昭和21年(1946)11月2日 ②昭和26年(1951)1月1日	各 14.0*9.0	葉書。 ①高岡市役所 ②高岡市横田 樋口正作→西砺波郡立野村西念寺方 大野伊吉。
26	大野伊吉宛上条恵書簡	6	昭和21年(1946)頃	—	葉書6枚、封書2通。 長野市 上条恵→西砺波郡立野村立野西念寺 大野伊吉、西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。
27	大野伊吉宛森屋照正書簡	3	昭和21年(1946)頃	—	葉書1枚、封書2通。 山梨県北都留郡富浜村下鳥沢 森屋照正→西砺波郡立野村立野西念寺 大野伊吉。
28	大野伊吉宛武藤久治郎書簡	3	昭和21年(1946)頃	—	封書3通。 岐阜県笠松町東宮町 武藤久治郎→西砺波郡立野村西念寺方 大野伊吉。福田・大野宛もあり。
29	大野伊吉宛枝広武夫書簡	7	昭和21年(1946)頃	—	封書7通。 広島県深安郡大津野村字大門490 枝広武夫→西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
30	大野伊吉宛伊藤純一書簡	3	昭和21年(1946)頃か	各 14.1*9.0	葉書。 東京都 伊藤純一→西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
31	大野伊吉宛船引亀一書簡	2	昭和21年(1946)頃か	各 11.9*7.4	葉書。 兵庫県 船引亀一→西砺波郡福岡町上大野1213 大野伊吉。
32	大野伊吉宛中妻三省書簡	2	昭和21~22年 (1946~47)頃か	各 14.0*9.0	葉書。 大分県 中妻三省→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉、 西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
33	大野伊吉宛沢辺聖平書簡	3	昭和21~22年 (1946~47)頃か	—	葉書。 茨城県 沢辺聖平→西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉、 西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
34	大野伊吉宛五男丸書簡	3	昭和21~22年 (1946~47)頃か	—	葉書。 高知県安芸町 福多写真館内 福多五男丸→西砺波 郡立野村立野西念寺内 大野伊吉、西砺波郡福岡町 上大野1213 大野伊吉。
35	大野伊吉宛土屋栄次年賀状	1	昭和22年 (1947)1月1日	12.1*7.4	葉書。 新湊三日曾根 土屋栄次→西砺波郡立野村立野西念 寺内 大野伊吉。
36	大野伊吉宛櫻木博年賀状	1	昭和22年 (1947)1月3日	14.2*8.9	葉書。 岐阜県恵那郡中津町北野 櫻木博→西砺波郡立野町 立野西念寺内 大野伊吉。
37	大野伊吉宛金矢俊男年賀状	1	昭和22年 (1947)1月5日	14.1*9.1	葉書。 青森県小湊町 金矢俊男→西砺波郡立野村立野西念 寺内 大野伊吉。
38	大野伊吉宛森多□□年賀状	1	昭和22年 (1947)1月7日	13.8*8.8	葉書。 福岡町 森多□□→西砺波郡立野村西念寺内 大野 伊吉。
39	大野伊吉宛城下泉年賀状	1	昭和22年 (1947)1月7日	14.0*9.0	葉書。 長野県下伊那郡喬木村阿島 城下泉→西砺波郡立野 村西念寺内 大野伊吉。
40	大野伊吉宛田中忠年賀状	1	昭和22年 (1947)1月11日	14.0*8.9	葉書。 愛媛県喜多郡長浜町出来村471 田中忠→西砺波郡 立野村立野西念寺内 大野伊吉。
41	大野伊吉宛和田敏子年賀状	1	昭和22年 (1947)1月18日	14.0*9.1	葉書。 福井県坂井郡吉崎願慶寺 和田敏子→西砺波郡立野 村立野西念寺内 大野伊吉。
42	大野伊吉宛田中実夫年賀状	1	昭和22年 (1947)1月	13.9*9.0	葉書。 長崎県大村市 長崎県立長崎工業学校 田中実夫→ 西砺波郡立野村立野 大野伊吉。
43	大野伊吉宛武島豊蔵香典令状	1	昭和22年 (1947)2月12日	14.0*9.1	葉書。裏面は印刷。武島豊蔵父・太八の葬儀。 西砺波郡東五位村樋詰 武島豊蔵・親戚一同→西砺 波郡立野村西念寺方 大野伊吉。
44	大野伊吉宛寺山一男書簡(年賀状の返信)	1	昭和22年 (1947)2月27日	13.9*8.8	葉書。 東京都北多摩郡昭和町福島604 寺山一男→西砺波 郡立野村立野西念寺内 大野伊吉。
45	大野伊吉宛江口涉書簡(貿易の件)	1	昭和22年 (1947)8月26日	13.9*9.1	葉書。 東京都台東区桂町11 桂町住宅 江口涉→西砺波郡 立野村立野 西念寺方 大野伊吉。
46	大野伊吉宛石井正克書簡	3	昭和22年(1947)頃か	—	葉書。 高崎市 石井正克→西砺波郡立野村立野西念寺内 大野伊吉、西砺波郡福岡町上大野 大野伊吉。
47	大野伊吉宛黒田信二書簡	6	昭和22~28年 (1947~53)	—	葉書。 黒田信二→西砺波郡立野村立野西念寺・富山市新 桜町28 実業之富山社・高岡市御旅屋町大福院 実 業之富山社・高岡市中川4区391 実業之富山社 大 野伊吉。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
48	大野伊吉宛高木友三郎書簡	62	昭和24～45年 (1949～70)頃	—	葉書10枚、封書45通、便箋・メモのみ7束。他に封筒のみ3点もあるが、これは点数に含めない。 高木友三郎(たかぎともさぶろう/1887～1974)は富山県出身の法政大学教授で、伊吉氏が同大で教えを受けた人物。 東京都 高木友三郎→実業之富山社 大野伊吉。
49	高木(友三郎)宛大野伊吉書簡(奥田との契約につき報告)	1	(昭和戦後)1月11日(月曜)	22.9*17.8	便箋4枚(封筒なし)。 大野伊吉→高木先生。
50	大野伊吉宛飯田彰書簡(雑誌送付願)	1	昭和戦後	14.0*9.0	葉書。 富山地方経済調査局 飯田彰→高岡市大鋸屋町51 実業之富山社 大野伊吉。
51	大野伊吉宛谷口謙治書簡(近況報告)	1	(昭和戦後)11月2日	14.0*9.0	葉書。 東京都千代田区代官町学生会館西41号室 谷口謙治→高岡市大鋸屋町 実業之富山社内 大野伊吉。
52	大野伊吉宛小島書簡(送付報告)	1	昭和24年 (1949)1月13日	14.1*9.0	葉書。 東京世田谷区成城町430 小島→高岡市大鋸屋町 実業之富山社 大野伊吉。
53	大野伊吉宛板垣與一書簡(原稿郵送報告)	1	(昭和戦後)2月13日	14.0*9.0	葉書。板垣與一(1908～2003)は富山県新湊町(現射水市)出身の経済学者。本資料に経歴を記しており、東京商科大学(のち一橋大学)教授とあることから、昭和24～26年頃のものか。 東京都練馬区豊玉上1-7 板垣與一→富山市新桜町28 大東出版文化協会 大野伊吉。
54	大野伊吉宛富樫長英書簡(謝罪ならびに転勤報告)	1	(昭和戦後)12月6日	14.0*9.0	葉書。 千葉県市川市北方136 富樫長英→富山市電気ビル3階 大東出版文化協会 大野伊吉。
55	大野伊吉宛藤井潔年賀状	2	①昭和24年 (1949)12月31日 ②昭和26年 (1951)1月1日	各 14.1*9.0	葉書。 ①富山市石金55 株式会社藤井組 藤井潔→高岡市大鋸屋町 大野伊吉。②井波町西町 藤井潔→高岡市大鋸屋町 大野伊吉。
56	大野伊吉宛石橋鉦業株式会社出張所年賀状	1	昭和25年 (1950)1月1日	14.0*9.0	葉書。 東京都港区芝新橋1-2 石橋鉦業株式会社出張所→富山市新桜町28 大東出版文化協会 大野伊吉。
57	大野伊吉宛若林長次書簡	2	昭和25年 (1950)2月	各 13.9*8.8	葉書。 石動町 若林長次→高岡市大鋸屋町51 大野伊吉。
58	大野伊吉宛影近清毅書簡(面会依頼)	1	昭和25年 (1950)12月5日	14.0*9.0	葉書。 西砺波郡太美山村 影近清毅→高岡市御旅屋町大福院通1167 実業の(マ)富山社 大野伊吉。
59	大野伊吉宛高田治清書簡(原稿送付の連絡)	1	昭和25年 (1950)12月18日	14.0*9.0	葉書。 別府市日佐町カ 亀の井旅館内 高田治清→高岡市大鋸屋町 実業の(マ)富山社 大野伊吉。
60	大野伊吉宛株式会社ワカノ電気工業所年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.0*9.0	葉書。裏面は印刷。 高岡市片原町通り 株式会社ワカノ電気工業所→高岡市大工仲町 大野伊吉。
61	大野伊吉宛日本曹達株式会社高岡工場年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.0*9.0	葉書。裏面は印刷。 高岡市向野町420番地 日本曹達株式会社高岡工場 工場長 戸田忠良→高岡市三番町72 実業之富山内 大野伊吉。
62	大野伊吉宛谷吉行雄年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.0*9.1	葉書。裏面は印刷。 雄山町五百石 立山製紙株式会社 谷吉行雄→高岡市大鋸屋町51 大野伊吉。
63	大野伊吉宛寺崎治作年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.0*9.0	葉書。裏面は印刷。 高岡市中川87 県議会議員 寺崎治作→市内大鋸屋町53 大野伊吉・外御一同。
64	大野伊作(ママ)宛高島敏孝年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.0*9.0	葉書。 高岡市涼町440 株式会社高岡新聞社 高島敏孝→市内大工町 大野伊作(ママ)。
65	大野伊吉宛高葉秀友年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.0*9.0	葉書。 富山市星井町139 高葉秀友→高岡市大鋸屋町 実業之富山社 大野伊吉。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
66	大野伊吉宛中井常平年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.1*9.1	葉書。 富山市岩瀬局区内昭和町口-15 中井常平→高岡市三番町72 大野伊吉。
67	大野伊吉宛池淵正年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.1*9.1	葉書。池淵正は富山県初の女性県議会議員。 氷見郡窪村窪 池淵正→高岡市大鋸屋町51 大野伊吉。
68	大野伊吉宛新畑れつ子年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.1*9.1	葉書。 氷見郡宮田村乱橋 新畑れつ子→高岡市大鋸屋町大野伊吉。
69	大野伊吉宛保科治朗年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.0*9.0	葉書。 婦負郡八幡村草島 保科治朗→高岡市大鋸屋町51 大野伊吉。
70	大野伊吉宛島津郁夫年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.1*9.1	葉書。 下新川郡魚津町八幡町 島津郁夫→西砺波郡立野(功会寺)方 大野伊吉。
71	大野伊吉宛谷奥保平年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	13.9*8.9	葉書。 京都府舞鶴市泉源寺1248 谷奥保平→高岡市大鋸屋町51 大野伊吉。
72	大野伊吉宛島田碩太郎年賀状	1	昭和26年 (1951)1月1日	14.0*9.0	葉書。 佐賀県鹿島町 島田碩太郎→高岡市大鋸屋町51 大野伊吉。
73	実業之富山社長宛 M. Futakuti 書簡 (情報提供の連絡)	1	(昭和戦後)	9.1*14.2	絵葉書「TRAFALGAR SQUARE AND NELSON COLUMN」。ロンドンのトラファルガー広場中心に据えられているネルソン記念柱の写真(単色刷)。 国際郵便。London M. Futakuti (不二越鋳業株式会社取締役社長の二口孫一か) →高岡市大福院 実業の(マ)富山社長。
74	大野伊吉宛四十萬富男書簡 (2月号掲載原稿送付の連絡)	1	(昭和戦後) 1月28日	24.9*17.5	便箋1枚(日本カーバイド工業株式会社魚津工場の便箋/封筒なし)。 四十萬富男→大野伊吉。
75	大野(伊吉)宛堀口静江書簡 (訪問の礼状)	1	(昭和戦後) 3月1日	24.8*17.2	便箋1枚(封筒なし)。 堀口静江→大野。
76	大野伊吉宛株式会社廣貫堂暑中見舞	1	(昭和戦後) 8月13日	14.2*8.9	葉書。裏面は印刷。 富山市梅沢町 株式会社廣貫堂 社長 廣瀬重造→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
77	大野伊吉宛社団法人富山県経営者協会残暑見舞	1	(昭和戦後) 8月27日	14.2*8.9	葉書。 富山市舟橋南町1番地 社団法人富山県経営者協会 佐々木威功→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
78	大野伊吉宛藤田正美書簡 (入籍報告)	1	(昭和戦後) 8月	24.9*17.4	便箋3枚(封筒あり)。 東京都世田谷区代田2-1058 鳴沢方 藤田正美→高岡市中川第4区 大野伊吉。
79	大野伊吉宛金岡又左衛門書簡 (林檎の御礼ならびに歓談の提案)	1	(昭和戦後) 9月19日	14.1*9.2	絵葉書(葵祭の木版刷りイラスト)。この金岡又左衛門は2代または3代で、ともに富山相互銀行(現富山第一銀行)の社長を務めた。 富山市総曲輪 富山相互銀行 金岡又左衛門→高岡市中川4区909 大野伊吉。
80	大野伊吉宛山崎昇書簡 (就職活動の相談)	1	(昭和戦後) 11月14日	25.0*17.9	便箋2枚(封筒あり)。 東京都品川区荏原1-473 土屋利功方 山崎昇→高岡市中川4区391 大野伊吉。
81	実業之富山社宛高岡郵便局書簡 (第三種郵便物見本提出について)	1	昭和戦後	14.2*9.0	葉書(通信事務)。 高岡市御馬出町 高岡郵便局→高岡市御旅屋町大福院 実業の(マ)富山社。
82	大野伊吉宛戸田正樹書簡	2	昭和戦後	—	封書2通。 東京都杉並区清水町49番地 村岡方 戸田正樹→高岡市中川第4区 大野伊吉。
83	大野伊吉宛大野正雄書簡	3	昭和20年代頃	—	封書3通。 広島県沼隈郡千歳村 大野正雄→西砺波郡立野村立野西念寺方 大野伊吉、高岡市中川4区391 大野伊吉。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
84	大野伊吉宛高見之通書簡 (海外発展期成会構成につき協力願)	1	(昭和27年) 11月18日	23.8*17.2	便箋2枚 (封筒あり)。高見之通(たかみゆきみち/1880~1962)は富山市出身の弁護士・衆議院議員。富山市千石町135 高見之通→高岡市中川4区 大野伊吉。
85	実業之富山社宛川南豊作書簡 (『実業之富山』掲載記事の礼状)	1	昭和28年(1953)1月14日	25.0*28.5	切紙1枚 (封筒あり)。東京都文京区真砂町15番地 川南工業株式会社 社長 川南豊作→高岡市御旅屋町大福院 実業之日本社。
86	大野伊吉宛協和実業社書簡 (商品案内)	1	昭和28年(1953)7月13日	—	用紙2枚 (封筒あり)。印刷物。東京都千代田区神田小川町1-8 日の出ビル 協和実業社→高岡市中川4区909 大野伊吉。
87	大野伊吉宛山田敏一書簡	8	昭和28年(1953)7~11月	各 14.1*9.1	葉書。富山市新庄町171 山田敏一→高岡市中川第4区391 大野伊吉。
88	大野伊吉宛井上庄作暑中見舞	1	昭和28年(1953)8月1日	14.0*9.1	葉書。西砺波郡西五位村加茂 井上庄作→高岡市中川4区391 大野伊吉。
89	実業之富山社宛東化工株式会社書簡 (取締役会決議案内)	1	昭和28年(1953)8月4日	25.2*35.3	用紙1枚 (封筒あり)。印刷物。高岡市能町2365番地 東化工株式会社→高岡市御旅屋町大福院 実業之富山社。
90	大野伊吉宛倉田利世暑中見舞	1	昭和28年(1953)8月6日	14.0*9.0	葉書。富山市長江98-1 倉田利世→高岡市中川4区 大野伊吉。
91	大野伊吉宛堀井芳友暑中見舞	1	昭和28年(1953)盛夏	14.2*8.9	葉書。裏面は印刷。富山市田地方新町97 堀井芳友→高岡市中川4区909 大野伊吉。
92	大野伊吉宛坂井重次郎書簡 (金の支出困難の報告)	1	昭和28年(1953)8月12日	14.0*9.1	葉書。中新川郡大岩村 坂井重次郎→高岡市御旅屋町大福院 実業ノ富山社 大野伊吉。
93	実業之富山社宛松井角平書簡 (『実業之富山』送付願)	1	昭和28年(1953)8月12日	14.0*9.1	葉書。松井建設株式会社社長の松井角平(15代)か。東京都中野区鷺宮5-291 松井角平→高岡市御旅屋町大福院1167 実業之富山社。
94	実業之富山社宛日本カーバイド工業株式会社魚津工場書簡 (『実業之富山』注文書)	1	昭和28年(1953)8月13日	14.5*20.9	用紙1枚 (封筒あり)。印刷物。魚津市本新751番地 日本カーバイド工業株式会社 魚津工場→高岡市御旅屋町 実業の(マ)富山社。
95	大野伊吉宛佐藤工業株式会社暑中見舞	1	昭和28年(1953)8月13日	14.2*9.2	葉書。裏面は印刷。東京都中央区本町1丁目2番地 佐藤工業株式会社 取締役社長 佐藤忻治→高岡市中川4区391 実業の(マ)富山社 大野伊吉。
96	大野伊吉宛第一薬品工業株式会社暑中見舞	1	昭和28年(1953)8月14日	14.3*9.2	葉書。裏面は印刷。富山市砂町12番地 第一薬品工業株式会社 石黒七三→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
97	大野伊吉宛徳井武夫暑中見舞	1	昭和28年(1953)8月14日	14.0*9.1	葉書。富山市一番町26 徳井武夫→高岡市中川区391 実業之富山 大野伊吉。
98	大野伊吉宛水間平三郎書簡 (評判につき本売り切れの連絡)	1	昭和28年(1953)8月14日	13.9*9.0	葉書。富山市新桜町50 水間平三郎→高岡市中川4-391 大野伊吉。
99	大野伊吉宛井野八郎暑中見舞	1	昭和28年(1953)8月14日	14.0*9.1	葉書。中新川郡上市町 井野八郎 (富山県市ヶ谷同窓会長) →高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
100	大野伊吉宛串畑武三書簡 (暑中見舞礼状)	1	昭和28年(1953)8月14日	13.9*8.9	葉書。八尾市三津54番地 八尾熱処理工業所 串畑武三→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
101	大野伊吉宛井上宗作暑中見舞	1	昭和28年(1953)8月15日	14.0*9.1	葉書。新湊市北長徳寺728 井上宗作→高岡市中川4区391 大野伊吉。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
102	大野伊吉宛新田隆信残暑見舞	1	昭和28年 (1953)8月16日	14.1*9.1	葉書。 富山市田刈屋新町14 新田隆信→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
103	大野伊吉宛斎藤栄三郎書簡(移転報告)	1	昭和28年 (1953)8月16日	14.0*9.1	葉書。 東京都大田区田園調布2丁目223番地 斎藤栄三郎→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
104	大野伊吉宛武田儀八郎残暑見舞	1	昭和28年 (1953)8月17日	14.0*9.1	葉書。武田儀八郎は旧高岡市第16代市長(昭和22.4.5~同23.4.14)。 高岡市内免251 新興工業株式会社 取締役会長 武田儀八郎→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
105	大野伊吉宛大久保一郎暑中見舞	1	昭和28年 (1953)8月18日	14.0*9.1	葉書。 富山市奥井9 大久保一郎→高岡市中川4区391 実業富山社 大野伊吉。
106	実業之富山社宛前田信孝書簡(『実業之富山』購読希望なしの連絡)	1	昭和28年 (1953)8月19日	14.0*9.0	葉書。 東砺波郡梅檀山村東別所 前田信孝→高岡市御旅屋町大福院 実業之富山社。
107	大野伊吉宛酒井森次書簡(『実業之富山』送付礼状)	1	昭和28年 (1953)8月21日	14.1*9.0	葉書。 中新川郡上市町 酒井森次(写真館)→高岡市御旅屋町大福院 実業之富山社 大野伊吉。
108	実業之富山社宛書簡(『実業之富山』一時購読中止願)	1	昭和28年 (1953)8月22日	14.4*9.2	葉書。 差出人不明(消印:富山小杉)→高岡市御旅屋町大福院 実業之富山社。
109	大野伊吉宛谷吉ゆき緒残暑見舞	1	昭和28年 (1953)8月22日	14.0*9.1	葉書。 上市局区内白萩村堤谷13 谷吉ゆき緒→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
110	大野伊吉宛吉田喜八郎残暑見舞	1	昭和28年 (1953)8月25日	14.0*9.0	葉書。 高岡市本町通り 吉田喜八郎→高岡市中川4区391 大野伊吉。
111	大野伊吉宛荒木丈太郎書簡	2	昭和28年 (1953)8月	—	葉書1枚、封書1通。 東京都(大谷重工業株式会社) 荒木丈太郎→高岡市御旅屋町大福院 大野伊吉、高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
112	大野伊吉宛菊池善隆書簡	2	昭和28年 (1953)8月	—	葉書1枚、封書1通。 東京都港区青山北町4丁目63番地 菊池善隆→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
113	大野伊吉宛板倉鶴松書簡(面会願)	1	昭和28年 (1953)9月1日	14.0*9.0	葉書。 下新川郡生地町 板倉鶴松→高岡市中川4区391 大野伊吉。
114	大野伊吉宛池田直視暑中見舞	1	昭和28年 (1953)9月2日	14.0*9.0	葉書。 富山市山室新町9 池田直視→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
115	実業之富山社宛大西組書簡(『実業之富山』購読中止願)	1	昭和28年 (1953)9月20日	14.0*9.0	葉書。 下新川郡泊町新本町 土木建築請負 大西組→高岡市御旅屋町大福院1167 実業之富山社。
116	実業之富山社宛モリヤマデンキ書簡(『実業之富山』引取願)	1	昭和28年 (1953)9月21日	14.1*9.1	葉書。 (消印:富山) モリヤマデンキ→富山市柳町97 実業之富山社。
117	大野伊吉宛富山証券業協会書簡(『実業之富山』送付願)	1	昭和28年 (1953)9月24日	14.1*9.0	葉書。 富山市衣服町20番地 富山証券業協会→高岡市御旅屋町大福院 実業之富山社 大野伊吉。
118	大野伊吉宛森田昭夫書簡(不二越鋼材工業株式会社へ就職活動につき口添願)	1	昭和28年 (1953)9月27日	25.4*17.5	便箋3枚(法政大学の便箋/封筒あり)。 東京都文京区大塚坂下町154 佐々木喜悦方 森田昭夫→高岡市中川第4区 大野伊吉。
119	大野伊吉宛尾間寛治書簡(近況報告)	1	昭和28年 (1953)9月	14.1*9.0	葉書。 東京世田谷区北沢2-294 青葉荘別館内 尾間寛治→高岡市中川909 大野伊吉。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
120	大野伊吉宛伊藤兼行書簡(訪問の礼状)	1	昭和28年 (1953)10月3日	14.0*9.0	葉書。 東京都三鷹市下連雀32 伊藤兼行→高岡市中川4区391 大野伊吉。
121	大野伊吉宛渡辺守之書簡(転勤報告)	1	昭和28年 (1953)10月10日	13.9*9.0	葉書。裏面は印刷。 長野県南安曇郡豊科町5050 呉羽紡績株式会社豊科工場 渡辺守之→高岡市中川4区391 大野伊吉。
122	大野伊吉宛小野田セメント株式会社書簡(株主総会通知)	1	昭和28年 (1953)11月8日	25.7*36.5	用紙2枚(封筒あり)。印刷物。 東京都 小野田セメント株式会社→高岡市中川4区391 大野伊吉。
123	大野伊吉宛岡田弘己書簡(伝達完了報告)	1	昭和28年 (1953)11月11日	25.4*17.7	便箋1枚(封筒あり)。法政大学の封筒・便箋を使用。 東京都大田区馬込西4-55 青葉館内 岡田弘己→高岡市中川4区391 大野伊吉。
124	大野伊吉宛藤野清書簡(訪問願)	1	昭和28年 (1953)11月12日	14.0*9.1	葉書。 富山市蓮町東部 藤野清→高岡市中川 実業之富山社 大野伊吉。
125	大野伊吉宛日本水産株式会社書簡(定時株主総会開催通知)	1	昭和28年 (1953)11月12日	—	用紙2枚(封筒あり)。印刷物。 東京都台東区南稻荷町114番地 日本水産株式会社→高岡市中川4区391 大野伊吉。
126	大野伊吉宛坂倉君子書簡(リング送付の連絡)	1	昭和28年 (1953)11月25日	22.9*17.8	便箋2枚(封筒あり)。他に日本国有鉄道の「急行小口扱貨物通知書」4枚(リングの送付に使用)も同じ封筒に入れていた。 青森市古川美法46 坂倉君子→高岡市中川4区391 大野伊吉。
127	大野伊吉宛天声会書簡(第4回開会御案内)	1	昭和28年 (1953)11月28日	14.0*9.0	葉書。裏面は印刷。 富山市千石町135 高見之通方 天声会→高岡市中川4区391 大野伊吉。
128	大野伊吉宛川崎重工業株式会社書簡(株主総会通知)	1	昭和28年 (1953)12月8日	—	用紙2枚・葉書1枚(封筒あり)。印刷物。 神戸市生田区東川崎町2丁目14番地 川崎重工業株式会社→高岡市中川4区391 大野伊吉。
129	大野伊吉宛国際情報社書簡(商品発送通知書)	1	昭和28年 (1953)12月13日	15.2*19.5	用紙1枚(封筒あり)。 東京都渋谷区上通り1-23 国際情報社→高岡市中川4区391 大野伊吉。
130	大野伊吉宛久下司書簡(原稿掲載の礼状)	1	昭和28年 (1953)12月14日	13.9*9.0	葉書。 東京都北多摩郡昭和町中神昭和郷西の1 久下司→高岡市御旅屋町大福院(実業之富山社) 大野伊吉。
131	大野伊吉宛大和田良介書簡(歳暮礼状)	1	昭和28年 (1953)12月18日	14.1*9.0	葉書。 富山市新桜町89 大和田良介→高岡市中川4区391 大野伊吉。
132	実業之富山社宛竹島慶書簡(日本海重工株式会社社会社整理につき照会)	1	昭和28年 (1953)12月	—	用紙綴(封筒あり)。印刷物。 富山市山王町59番地 日本海重工株式会社検査役 弁護士 竹島慶→高岡市大鋸屋町 実業之富山社。
133	大野伊吉宛財務経済会書簡	2	①昭和28年 (1953) ②昭和28年 (1953)9月3日	各 14.1*9.1	葉書。 ①富山市安野屋町410番地 財務経済会富山支店→高岡市御旅屋町大福院前 実業の(ママ)富山社 大野伊吉。②高岡市堀上町42 財務経済会高岡出張所→高岡市中川4区391 大野伊吉。
134	大野伊吉宛田村佳央書簡	3	昭和28年(1953)	—	葉書1枚、封書2通。 東京都杉並区馬橋4-478 田村佳央→高岡市中川4区391 大野伊吉。
135	大野伊吉宛石川誠司書簡	3	昭和28年(1953)	—	葉書1枚、便箋1枚、封書1通。 東京都千代田区丸ノ内2-2 丸ビル5階 株式会社小松製作所 石川誠司→高岡市中川4区391 大野伊吉。
136	大野伊吉宛柚木久和書簡	2	昭和28年(1953)	—	封書2通。 東京都渋谷区幡ヶ谷本町3-472 柚木久和→高岡市中川4区391 大野伊吉。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
137	大野伊吉宛鉄指公蔵書簡 (暑中見舞礼状)	1	昭和28年(1953)	13.9*9.0	葉書。横浜市出身の洋画家・鉄指公蔵(てつさしこうぞう/1908~68)か。 横浜市鶴見区下末吉町旭台 鉄指公蔵→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
138	大野伊吉宛富士紡績株式会社書簡	2	昭和28年(1953)	—	封書2通。 東京都中央区日本橋本町2-1 富士紡績株式会社→高岡市中川4区391 大野伊吉。
139	大野伊吉宛株式会社富山相互銀行書簡	2	昭和28年(1953)	—	封書2通。 富山市総曲輪444番地 株式会社富山相互銀行→高岡市中川4区391 大野伊吉。
140	大野伊吉(実業之富山社)宛電報	6	昭和28年(1953)・昭和34年(1959)	各 21.3*12.4	電報用紙(日本電信電話公社)6枚。
141	大野伊吉宛安川書簡	2	昭和28年(1953)頃か	各 14.1*9.1	葉書。 富山市下奥井1番地 株式会社大谷製鋼所立山工場安川→高岡市御旅屋町大福院 実業之富山社 大野伊吉。
142	大野伊吉宛不二越鋳業株式会社年賀状	5	昭和20~30年代頃	—	葉書1枚、封書4通。 富山市石金20 不二越鋳業株式会社 取締役社長 二口孫一・(不二越鋳業株式会社)→高岡市三番町72 大野伊吉、高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
143	大野(伊吉)宛中田書簡	2	昭和20~30年代頃	—	便箋2枚(封筒なし)。 それぞれ別の時期に書かれたもの。
144	大野伊吉宛中川秀秋書簡	6	昭和戦後~35年(1960)頃	—	葉書2枚、封書3通。伊吉氏は法政大卒。 東京都(法政大学復興局長)中川秀秋→富山市新桜町28 大東出版文化協会 大野伊吉、高岡市大鋸屋町51 実業之富山社長 大野伊吉、高岡市中川4区391 大野伊吉。
145	実業之富山社広告課宛魚躬絨毯紡織株式会社書簡(新年号掲載の社名広告送付の連絡)	1	昭和30年(1955)12月19日	23.7*17.3	便箋1枚(封筒あり)。 滑川局内 魚躬絨毯紡織株式会社→高岡市中川4区391 実業之富山社広告課。
146	大野伊吉宛株式会社栗本鉄工所書簡	6	昭和33~34年(1958~59)	—	葉書1枚、封書5通。 大阪市東区唐物町4丁目26番地 株式会社栗本鉄工所→高岡市中川3区 実業の(マ)富山社 大野伊吉、高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
147	大野伊吉宛五十嵐準士書簡(団体支部創設につき助力願)	1	昭和34年(1959)9月15日	24.8*17.8	便箋4枚(封筒あり)。 富山市安住町33 日本生命富山市社内 五十嵐準士→高岡市中川4丁目391 実業の(マ)富山社 大野伊吉。
148	大野伊吉宛河村光男法律事務所書簡(依頼の件につき連絡)	1	昭和34年(1959)10月7日	24.8*17.8	便箋1枚(封筒なし)。 富山市千石町165番地 弁護士 河村光男法律事務所→大野伊吉。
149	大野伊吉宛長沢正夫書簡(日展切符礼状)	1	昭和34年(1959)11月21日	25.8*18.2	便箋2枚(封筒あり)。法政大学経済学部で元野村證券投資信託委託会長・野村證券専務の長沢正夫(1911~2004)か。 東京都中央区日本橋通1丁目1番地 野村證券株式会社 長沢正夫→富山市柳町97 実業之富山社 大野伊吉。
150	大野伊吉宛中田週書簡	5	昭和34年(1959)	—	葉書4枚、封書1通。 京都市 中田週(栗本鉄工)→高岡市中川4区391 実業之富山社 大野伊吉。
151	大野伊吉宛村田兵治書簡(見舞礼状)	1	昭和35年(1960)2月5日	14.0*9.0	葉書。 (消印:高岡)弥生町44 村田兵治→市内中川4区391 大野伊吉。
152	大野(伊吉)宛井上きぬ子葬儀礼状	1	昭和35年(1960)2月17日	14.3*9.1	用紙1枚(封筒あり)。印刷物。井上きぬ子夫・井上知之の葬儀。 富山市西四十物町39 井上きぬ子→高岡市 実業之富山社 大野。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
153	大野伊吉宛綿貫民輔書簡(視察出発の連絡)	1	昭和35年 (1960)2月18日	15.2*10.3	用紙1枚(封筒あり)。印刷物。綿貫民輔は前年に県議会議員。のち衆議院議員、議長。高岡市横田533 砺波運輸株式会社 取締役社長 綿貫民輔→高岡市中川4区391 大野伊吉。
154	大野伊吉宛スガキ印刷工業株式会社書簡(葬儀礼状)	1	昭和35年 (1960)3月18日	14.3*18.1	用紙1枚(封筒あり)。印刷物。スガキ印刷工業株式会社常任監査役・販売部長の須垣久七の葬儀。富山市古鍛冶町59 スガキ印刷工業株式会社 代表取締役 須垣久作・須垣玲子→高岡市中川 実業富山社(ママ) 大野伊吉。
155	大野伊吉宛堀健治書簡(市長選挙無投票当選につき挨拶状)	1	昭和35年 (1960)4月27日	15.3*10.4	用紙1枚(封筒あり)。印刷物。堀健治は高岡市長(官選1期、公選9期)。高岡市長 堀健治→高岡市中川4区 実業之富山社 大野伊吉。
156	大野伊吉宛羽田辰二書簡	2	昭和35年(1960)	—	封書2通。 羽田辰二→高岡市中川4区391 大野伊吉。
157	大野伊吉宛北陸航空輸送株式会社書簡	5	昭和30~40年代頃	—	封書5通。 金沢市 北陸航空輸送株式会社→高岡市中川4区391 大野伊吉。
158	絵葉書「パイパートリペーサー/北陸航空輸送株式会社」	1	昭和戦後	14.3*9.1	絵葉書(単色刷)。パイパートリペーサーは、アメリカのパイパー・エアクラフト社が第二次大戦後に開発した4人乗り高翼機・パイパー PA-22 トライ・ペイサーのことか。表面に子供の字で文章が書かれている(途中まで手紙文を書いたと思われる)。
159	大野伊吉宛中島美代子年賀状	1	昭和43年 (1968)7月1日以降	14.3*10.0	葉書(消印なし/郵便番号欄あり)。埼玉県入間郡富士見町字つるせ第二団地105-11 中島美代子→高岡市中川本町2-3 大野伊吉。
160	実業之富山社宛佐渡島金属株式会社書簡(『実業之富山社』購読中止願)	1	昭和44年 (1969)10月13日	25.1*17.6	便箋1枚(封筒あり)。大阪市南区鰻谷東之町7番地 佐渡島金属株式会社 総務部→高岡市中川本町2番3号 実業之富山社。
161	里見米菴関係資料	9	昭和59~60年 (1985~86)頃	—	里見米菴(さとみべいあん/1898~1993)は富山県小杉町(現射水市)出身の日本画家。 ・実業之富山社宛里見米菴封筒/昭和59年9月4日…1枚 ・大野伊吉宛里見米菴書簡(絵葉書)/昭和59年…1枚 ・「里見米菴画伯 米寿記念雅会会則」昭和60年5月…1部 ・大野伊吉宛里見米菴封筒/昭和60年6月15日…1枚 ・里見米菴写真(モノクロ)…5枚
162	北支第二回県政連絡員同窓会アルバム	1	昭和戦前	24.0*31.3	冊子(31丁)。他に写真1枚が挟まっている。写真はすべてモノクロ。 「第4班」写真のキャプションに「大野伊吉」あり。また、巻末の「同期生名簿」に「大野伊吉/法政大学経済学部/富山県西砺波郡福岡町上大野6213」とあり。
163	県政連絡員関係写真	4	昭和戦前	—	No.162のアルバムと一緒に保管されていたモノクロ写真。伊吉氏が写っているものもある。
164	戸出物産株式会社関係書簡等	6	大正~昭和期	各 14.0*9.1	すべて葉書を使用。伊吉氏は戸出物産の大株主。 ・手形取組計算明細書(未記入)…1枚 ・東洋綿花株式会社船場出張員宛書簡(台風被害の見舞状)/昭和9年(1934)9月25日(印刷物/消印なし)…1枚 ・書簡(弁当持参願)/昭和期(宛先未記入)…1枚 ・年賀状(印刷物/宛先未記入)…3枚
165	戸出物産会社柄見本	1	大正4年(1915)4月	16.1*21.5	横半帳(52丁)。柄の入った生地を細長く切ったものが貼付された見本帳。表紙墨書「大正四年四月/柄見本/戸出物産会社」。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
166	戸出物産株式会社関係写真	105	昭和15年(1940)頃	—	1枚を除きモノクロ写真。 ・1枚もの…47枚(うちカラー写真1枚/平成8年12月16日撮影) ・台紙貼り…45枚 ・タトウ入り…11枚 ・ガラス乾板…6枚 ・銅版印刷原版…1枚(木製の持ち手に貼り付けられている) 他にタトウのみ2点もあるが、点数に含めない。
167	昭和天皇写真	2	昭和期	—	モノクロ。 No.166と一緒に入っていた。
168	写真	2		—	詳細不明。モノクロ。 No.166と一緒に入っていた。
169	手帳	1	昭和期	12.1*6.8	綴じ部分が外れてバラバラになっている。元々何冊の手帳なのかも不明な状態。
170	住所書上	1		8.4*13.9	切紙。
171	革靴修理券	1		8.9*6.3	用紙。印刷物。 発行：富山県物資更生協会。
172	革靴修理券ニ関スル件	1	昭和21年(1946)5月15日	25.8*17.8	用紙。印刷物。 福岡町長 島田七郎右衛門→常会長。
173	昭和21年分所得金額・利得金額・純益金額決定通知書	1	昭和21年(1946)5月30日	17.8*15.7	用紙。印刷物。 出町税務署長 大蔵事務官 出澤良男→福岡町 大野伊吉。
174	外地から引揚者(個人、法人)在外財産報告に就て	1	昭和21年(1946)10月29日	24.1*32.8	用紙1枚(封筒あり)。印刷物。 福岡町長欠員ニ付き助役 蓑憲作→引揚者。(封筒：西砺波郡福岡町役場→三日市 伊平方 大野伊吉)
175	国民健康保険税関係書	2	昭和28年(1953)	—	用紙。印刷物。納人：高岡市中川4区 大野伊吉。 徴税令書(督促状)及び納付書・領収済通知書・領収証書の3種が1枚に印刷されている。
176	名刺	4		—	・富山県農業会高岡市支部 米田源作 ・株式会社石川製作所 原田金太郎 ・帽子卸 株式会社蝶屋商店 常務取締役 中嶋捨吉 ・入江公認会計士事務所 公認会計士 税理士 入江久二
177	ふくだげんどう宛おおのはじめ年賀状	2	昭和戦後	各 14.0*9.1	私製葉書(投函はされていない。学校内で生徒同士が交換する年賀状か)。おおのはじめは伊吉氏の子の大野一氏か。 高岡市中川4区 おおのはじめ→西砺波郡立野村 ふくだげんどう。
178	田邊甚三郎君碑文原稿	1	明治42年(1909)6月	24.8*16.9	罫紙綴(3丁)。新潟県長岡市 寶田石油株式会社 の罫紙を使用。 「東宮侍講正四位勲二等大学博士 三島敬撰」。
179	間山重太郎宛みつ子書簡(情報提供の連絡)	1	1931年7月19日	13.8*8.8	絵葉書「Marine Building and Burrard Inlet, Vancouver, B.C. Canada」カナダのブリテイッシュ コロンビア州バンクーバーのマリンビルとバラード・インレットの手彩色絵葉書。 国際郵便。バンクーバー みつ子→東京市京橋区 東京朝日新聞社発送係 間山重太郎。
180	元特務機関恩給実現期成会関係資料	1 (一括)	昭和56年(1981)	—	元特務機関恩給実現期成会 世話人代表 青木達雄から大野伊吉宛の封筒に入っていた資料一式。 東京都大田区上池台4-38-6 元特務機関恩給実現期成会 世話人代表 青木達雄→高岡市中川本町2-3 大野伊吉。
181	株式会社テレビュー富山(現株式会社チューリップテレビ)設立関係資料	1 (一括)	昭和末～平成初期	—	伊吉氏の「番組審議会委員履歴書」あり。 株式会社テレビュー富山の設立は平成元年11月で、本放送開始は平成2年10月である。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
182	藩札・紙幣	28	江戸期～昭和戦後	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加賀藩藩札…4枚（五百文1枚、百文1枚、五十文2枚）</li> <li>・大日本帝国政府軍用手票／日中戦争時…4枚（1銭、5銭、50銭、1円）</li> <li>・日本銀行い号券10銭（八紘一宇塔）／昭和19年以降…1枚</li> <li>・政府紙幣50銭（靖国神社）／昭和19年…1枚</li> <li>・二宮1円札（二宮尊徳（通称金次郎））／昭和21年以降…1枚 ※現在でも使用可能</li> <li>・政府紙幣B号50銭（板垣退助）／昭和23年以降…11枚</li> <li>・河南省銀行1円／中華民国12年(1923年)…1枚</li> <li>・阜平城南鎮瑞豊慶1角／中華民国19年(1930年)…1枚</li> <li>・河北省銀行5円／中華民国23年(1934年)…1枚</li> <li>・中国連合準備銀行／中華民国27年(1938年)…3枚（1分、1角、1円）</li> </ul> <p>いずれも株式会社高岡銀行の預金証書用紙袋(昭和13年)と、与野商店（肥料問屋／横浜）の布製袋に入っていた。また、本願寺布教使・藤 栄城（兵庫県 顕証寺）の名刺1枚も入っていた。</p>
183	共進会へ米出品願	1	明治17年 (1884)7月7日	24.0*35.7	<p>罫紙。翌年11月11～30日開催の富山県米繭系共進会（於富山・総曲輪の公会所）か。      砺波郡本領八百村324番地 平民 出品人 宗次郎、戸長 河辺菊二→富山県令 国重正文。      奥書：明治17年7月19日 富山県令 国重正文。</p>
184	山本次郎宛三村商店書簡（高岡銀行・共立銀行新株式払込につき）	1	明治34年 (1901)2月12日	14.1*9.1	<p>葉書。      高岡市通町 三村商店→西砺波郡大字大滝村 山本次郎。</p>
185	地目変更登記申請書	1	明治41年 (1908)3月5日	27.3*19.7	<p>用紙綴（6丁）。      申請人：西砺波郡大滝村大字本領八百村845番地 山本茂里→杉木新区裁判所今石動出張所。</p>
186	大正13年度諸費計算書	1	大正13年(1924)頃	18.5*53.7	<p>用紙綴（13丁）。      作成者：山本。</p>
187	株式会社福岡同盟銀行関係資料	11	明治33～40年 (1900～07)頃	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本次郎宛明治33年上半年期当座差引勘定書／明治33年6月1日…1通（2枚）</li> <li>・山本次郎宛書簡（第11期株式配当金通知書）／明治33年7月18日…1枚</li> <li>・山本次郎宛明治33年下半年期当座差引勘定書／明治33年12月1日…1通（2枚）</li> <li>・山本次郎宛書簡（当座取引利息計算期の変更につき承諾願）／明治33年12月1日…1枚</li> <li>・株式会社福岡同盟銀行定款附新株式発行規定／明治39年1月17日…1枚</li> <li>・営業報告書／明治36～40年…6冊</li> </ul>
188	株式会社高岡共立銀行関係資料	7	明治33～43年 (1900～10)頃	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本次郎宛申込株数に対し割当確定につき連絡／明治33年3月…1枚</li> <li>・利益配当金領収証（未記入）／明治43年…1枚</li> <li>・株主総会開催通知ならびに計算書／明治39年7月4日…1通（2枚）</li> <li>・株主総会開催通知ならびに計算書／明治43年1月4日…1通（2枚）</li> <li>・営業報告書／明治38～43年…3冊</li> </ul>

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
189	株式会社高岡銀行関係資料	17	明治33～大正9年(1900～20)頃	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本次郎宛株主印鑑簿調製につき印鑑用紙差出願／明治33年4月28日…1枚</li> <li>・山本次郎宛第10回臨時總會開催につき通知書／明治33年4月28日…1枚</li> <li>・封筒(高岡市御馬出町 株式会社高岡銀行→西砺波郡大滝村大字本領八百村624 山本次郎)／明治39年7月11日消印…1枚</li> <li>・第34回定時總會決議書／明治39年7月20日…1枚</li> <li>・監査役死去につき補欠選挙延期通知書／明治39年7月21日…1枚</li> <li>・山本鉄次宛第41回定時總會関係書類／明治43年1月5日…3枚</li> <li>・高岡共立銀行合併につき仮契約書／大正9年3月16日…1枚</li> <li>・臨時株主總會招集通知書／大正9年3月21日…1枚</li> <li>・株主總會招集通知書／大正9年6月5日…1枚</li> <li>・株式会社高岡銀行定款…1枚</li> <li>・営業報告書／明治38年・39年…2冊</li> <li>・株主氏名表など(冊子から外れたもの)…3部</li> </ul>
190	株式会社中越銀行関係資料	5	明治38～40年(1905～07)頃	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書簡(臨時株主總會開催につき連絡)／明治38年10月3日…1通(4枚)</li> <li>・土合ふさ株式申込証／明治38年11月…1枚(土合ふさ住所:西砺波郡大蔵(マ)村大字本領八百村2733番地)</li> <li>・株式申込証(未記入)／明治38年…1枚</li> <li>・第25期営業報告書／明治40年上半年…1冊</li> <li>・山本鉄次当座預金通帳／明治41年10月8日…1冊</li> </ul>
191	北陸人造肥料株式会社通知書	2	①明治43年(1910)1月8日 ②大正9年(1920)3月19日	—	用紙。印刷物。 ①第3期定時總會開設につき通知書。②臨時株主總會開催につき通知書。
192	株式会社砺波新報社第12回定時株主總會開設につき通知書	1	大正9年(1920)3月15日	19.7*45.7	用紙。印刷物。 株主宛。
193	富山県西砺波郡関係資料	14	明治期～大正4年(1915)	—	すべて印刷物。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・西砺波郡地所請作証書(すべて未記入)／明治期…11枚</li> <li>・大正3年度富山県西砺波郡歳入歳出変更予算議決書…1冊</li> <li>・大正4年度富山県西砺波郡歳入歳出予算書／大正4年1月27日議決…1冊</li> <li>・農家之葉第五編 宅地整理／発行所:西砺波郡農会／大正4年8月13日発行…1冊</li> </ul>
194	書「松本正雄」	3		各 36.2*25.6	半紙。縦書き2枚、横書き1枚にそれぞれ「松本正雄」と書かれている。同姓同名の実業家・政治家(小矢部市長4期14年)か。
195	海国生命保険株式会社保険規則	1	明治期	39.3*54.6	用紙。印刷物。 「福岡代理店 養松太郎」の押印あり。
196	『衆議院議事筆記』	1	明治26年頃	21.4*15.0	冊子(前後欠)。印刷物。 北陸政論付録。
197	『庚寅新誌』第55号	1	明治35年(1902)6月1日	22.0*14.9	冊子(62頁)。 発行所:庚寅新誌社。
198	『友政』第166号	1	大正3年(1914)4月16日	25.5*18.0	冊子(30頁)。 発行所:立憲政友会。
199	宇奈月温泉国際観光ホテル 延對寺荘リーフレット	1		15.5*41.7	印刷物(カラー)。

合計 884 点

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
付属品1	マッカーサー回想記	—	昭和30年代後半	—	朝日新聞連載の切り抜き。
付属品2	複写物	—	昭和～平成期	—	様々な複写物など。 大野博「二十一師団（討兵団）インラン高射砲陣地で終戦／野島隊の思い出」（複写）あり。
付属品3	新聞切り抜き	—		—	
付属品4	中身の入っていない使用済み封筒・書き損じ葉書など	—		—	